

公益財団法人京都市国際交流協会

第1 法人の概要

1 代表者

理事長 千玄室

2 所在地

京都市左京区粟田口鳥居町2番地の1

3 電話番号

075-752-3010

4 ホームページアドレス

<http://www.kcif.or.jp/>

5 設立年月日

平成元年1月18日

6 基本財産

100,000千円（うち本市出えん額 100,000千円，出えん率 100.0%）

7 事業目的

京都において、歴史、文化その他の地域特性を生かした国際交流活動を推進することにより、市民レベルの相互理解と友好親善を深め、京都の国際化に寄与すること。

8 業務内容

- (1) 国際交流を推進するための事業
- (2) 多文化共生社会を推進するための事業
- (3) 地域の国際交流団体の活動の振興
- (4) 留学生の支援
- (5) 姉妹都市交流の促進
- (6) 京都市国際交流会館の管理運営受託
- (7) その他協会の目的を達成するために必要な事業

9 所管部局

総合企画局国際化推進室（TEL075-222-3072）

10 役員名等

(1) 理事長

千玄室

(2) 専務理事

藤田裕之

(3) 理事

有田典代，小川伸彦，陳萍，高木壽一，高田光治，仲尾宏，浜田麻里，山口ひかり（総合企画局国際化推進室長）

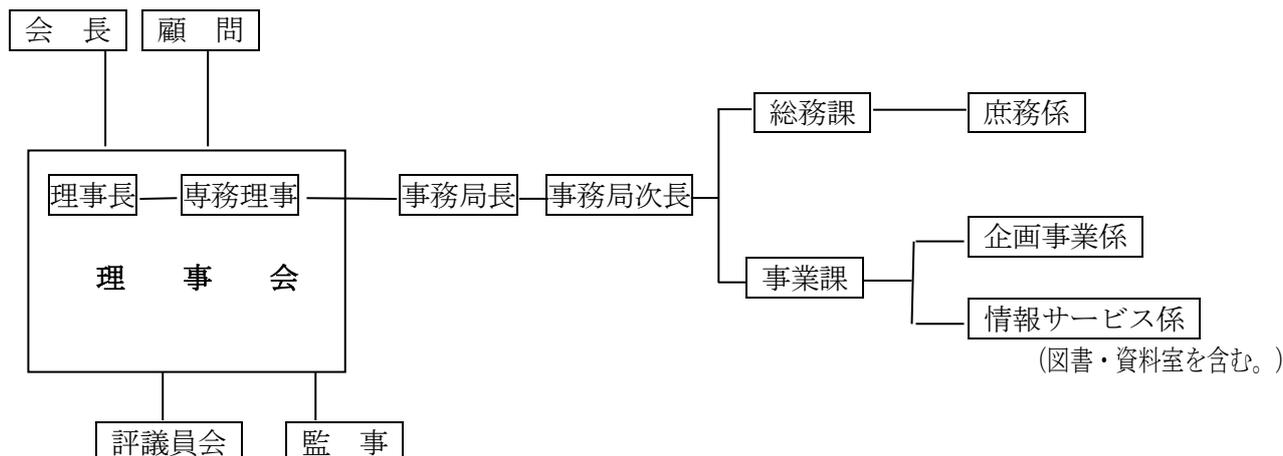
(4) 監事

中村健児，奥井拓史（総合企画局総合政策室長）

11 常勤職員数

19人（うち本市派遣職員0人）

12 組織機構



第2 経営状況

1 平成30年度決算

(1) 事業報告

ア 市民への情報提供、相談事業

- (ア) 情報サービス関連
- (イ) 図書・資料室の運営
- (ウ) 相談関連

イ 国際交流団体等との連携事業

- (ア) 京都国際交流団体情報ネットワーク (kokoka 国際交流団体ねっと)
- (イ) 企業等コラボ事業
- (ウ) 名義後援等による国際交流団体活動の支援

ウ 共生社会を促進していくための担い手育成事業

- (ア) 国際交流市民活動グループ育成支援事業「COSMOS」
- (イ) ボランティア活動育成事業
- (ウ) インターン受入事業
- (エ) 社会見学受入事業
- (オ) 日本語教室開講に対する支援
- (カ) ベトナム人と kokoka を結ぶガイダンス

エ 異文化理解・多文化共生社会への促進事業

- (ア) 異文化理解・多文化共生社会を促進するためのフォーラム・セミナー等
 - a 「チョゴリときもの」シリーズII 第26回 激動の朝鮮半島をめぐって～東アジアの過去・現在・未来～
(特別永住者としてのコリアンの歴史や現状に対する理解を深めるとともに、日本の真の国際化、豊かな共生社会の推進を考える連続フォーラム)
 - b kokoka30周年記念シンポジウム「多文化共生新時代～今私たちにできること」
- (イ) 異文化理解を促進するための交流活動
 - a kokoka オープンデイ 2018～今から ここから あなたから～
(京都市国際交流会館の存在を知っていただくことを目的に開催する国際交流イベント)
 - b 子どものための国際理解教育協働促進事業 国際理解プログラム「PICNIK」
 - c 開発教育入門セミナー ～Think Globally, Act Locally 足元と世界をつなぐ～
 - d 子どもワールドフェスティバル
 - e 国際理解教材の貸出
 - f 世界の絵本展「ボンジュール！フランスの絵本たち」

- g 京都につながる世界歴史都市絵本展
- h KYOTO・ふれあい講座「はじめてのお茶」
- i やさしい日本語（初心者向け日本語学習講座）
- j ほっこり BOOK カフェ（多文化共生社会の基本概念を広めるために、外国籍市民と日本人がお互いの意見を交換することで、多様なものの見方や考え方を知る事業）
- k 京都市国際文化市民交流促進サポート事業（京都市内の団体からの依頼に応じて、研修やイベントなどの各種催しに、外国にルーツを持つ方々を講師として派遣する事業）
- l 学生英語交流企画
- (ウ) 多文化共生社会へのまちづくり
 - a 医療通訳派遣事業
 - b コリアンサロン「めあり」（朝鮮半島の歴史、文化の紹介や在日韓国・朝鮮人に対する理解を目指し、韓国民団京都府本部、朝鮮総聯京都府本部、当協会の3団体が共同で実施する文化事業）
 - c 外国人のための住宅支援事業
 - d 外国籍市民コミュニケーション支援事業（行政通訳・相談事業、行政通訳相談員実務研修、京都市新生児訪問等通訳者派遣、選考試験、人材育成のためのDVD、マニュアル、試験問題作成）
 - e 災害時における外国籍市民支援（「地震・緊急時行動マニュアル」等の配布、「kokoka 避難所宿泊訓練 2018」の実施、多言語便利情報の運営、「京都市総合防災訓練」への参加）
 - f 多文化コミュニティ協働事業
 - g 錦林東山学区民体育祭への参加
 - h グローバル婚活 koko コンセミナー
- オ 留学生との協働、留学生への支援、留学生との交流事業
 - (ア) 留学生スタディ京都ネットワークへの参画
 - (イ) 京都市外国人留学生国民健康保険料補助事業
 - (ウ) 張鳳俊奨学基金奨学金支給事業
 - (エ) 留学生のための就職支援事業
 - (オ) 留学生優待プログラム
 - (カ) 外国人歓迎会
 - (キ) 来日直後の留学生支援業務（ウェルカムパッケージ）
- カ 広報・出版事業
 - (ア) 広報・出版関係（年報『Annual Report』等の発行）
 - (イ) 京都市避難所／広域避難場所 Map 等の配布
 - (ウ) 広告関係
- キ 姉妹都市コーナー・展示室の運営及び姉妹都市関連事業
- ク 京都市国際交流会館の運営
 - (ア) 貸施設関係
 - (イ) 京都市国際交流会館屋外使用・館内ロビー等使用
 - (ウ) 団体事務室の入居団体及びレストランとの連携
 - (エ) 京都岡崎魅力づくり推進協議会への参画
 - (オ) 「春！kokoka おもてなし広場」の実施（日本庭園の無料開放を実施）
- ケ 理事会等の開催

(2) 財務諸表

貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	46,027	55,039	△9,012
未収金	1,189	2,566	△1,378
前払金	160	104	56
流動資産合計	[47,376]	[57,709]	[△10,333]
2. 固定資産			
(基本財産)			
投資有価証券	100,000	100,000	0
基本財産合計	(100,000)	(100,000)	(0)
(特定資産)			
退職給付引当資産	75,146	71,645	3,502
特定事業運営基金	100,000	100,000	0
特定資産合計	(175,146)	(171,645)	(3,502)
(その他固定資産)			
定期預金	2,100	2,100	0
投資有価証券	29,946	29,943	3
什器備品	61	99	△37
絵画等	9,700	9,700	0
その他固定資産合計	(41,808)	(41,842)	(△34)
固定資産合計	[316,954]	[313,486]	[3,468]
資産合計	364,331	371,196	△6,865
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	3,059	3,171	△112
預り金	2,178	2,187	△9
前受金	12,946	15,279	△2,334
賞与引当金	9,948	9,146	802
流動負債合計	[28,131]	[29,783]	[△1,652]
2. 固定負債			
退職給付引当金	95,519	87,323	8,196
固定負債合計	[95,519]	[87,323]	[8,196]
負債合計	123,649	117,106	6,544
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
京都市出捐金	100,000	100,000	0
寄附金	100,000	100,000	0
指定正味財産合計	[200,000]	[200,000]	[0]
(うち基本財産への充当額)	(100,000)	(100,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(100,000)	(100,000)	(0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	[40,681]	[54,090]	[△13,409]
正味財産合計	240,681	254,090	△13,409
負債及び正味財産合計	364,331	371,196	△6,865

正味財産増減計算書

平成30年4月1日～平成31年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,262	1,262	0
特定資産運用益	3,108	3,628	△519
事業収益	248,949	251,815	△2,866
受取補助金等	18,207	18,795	△588
受取寄附金	1,450	1,261	188
雑収益	271	272	△1
委託料収益	6,886	5,032	1,854
経常収益計	280,132	282,065	△1,933
(2) 経常費用			
事業費	277,375	274,461	2,915
管理費	16,166	15,954	212
経常費用計	293,541	290,414	3,127
当期経常増減額	△13,409	△8,349	△5,060
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	△0
当期経常外増減額	0	△0	0
当期一般正味財産増減額	△13,409	△8,349	△5,060
一般正味財産期首残高	54,090	62,440	△8,349
一般正味財産期末残高	40,681	54,090	△13,409
II. 指定正味財産増減の部			
受取寄附金	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	200,000	200,000	0
指定正味財産期末残高	200,000	200,000	0
III. 正味財産期末残高	240,681	254,090	△13,409

2 令和元年度事業計画

(1) 事業概要

- ア 市民への情報提供, 相談事業
 - (ア) 情報サービス関連
 - (イ) 図書・資料室の運営
 - (ウ) 相談関連(「京都市外国籍市民総合相談窓口」など。)
- イ 国際交流団体等との連携事業
 - (ア) 京都国際交流団体情報ネットワーク (kokoka 国際交流団体ねっと)
 - (イ) 企業等コラボ事業
 - (ウ) 名義後援等による国際交流団体活動の支援
- ウ 共生社会を促進していくための担い手育成事業
 - (ア) 国際交流市民活動グループ育成支援事業「COSMOS」
 - (イ) ボランティア活動育成事業
 - (ウ) インターン受入事業
 - (エ) 社会見学受入事業
 - (オ) 地域でつながる日本語教室事業 (新規)
 - (カ) 学生英語交流企画
- エ 異文化理解・多文化共生社会への促進事業
 - (ア) 異文化理解・多文化共生社会を促進するためのフォーラム・セミナー等
フォーラム「チョゴリときもの」
 - (イ) 異文化理解を促進するための交流活動
 - a kokoka オープンデイ
 - b 子どものための国際理解教育協働促進事業 国際理解プログラム「PICNIK」
 - c 開発教育入門セミナー
 - d 国際理解教材の貸出 (新規 国際感覚を育てる国際理解パッケージ含む。)
 - e 世界の絵本展
 - f 京都につながる世界歴史都市絵本展
 - g KYOTO・ふれあい講座「はじめてのお茶」
 - h KYOTO・ふれあい講座「Enjoy Kimono」(新規)
 - i やさしい日本語 (初心者向け日本語学習講座)
 - (ウ) 多文化共生社会へのまちづくり
 - a 医療通訳派遣事業
 - b コリアンサロン「めあり」
 - c 外国人のための住宅支援事業
 - d 外国籍市民行政サービス利用等通訳・相談事業
 - e 災害時における外国籍市民支援(「地震・緊急時行動マニュアル」等の配布,
「kokoka 防災訓練」の実施, 多言語便利情報の運営, 「京都市総合防災訓練」への参加)
 - f 多文化コミュニティ協働事業
 - g グローバル婚活 koko コンセミナー
 - h 錦林東山学区民体育祭への参加
 - i 子育て応援プロジェクト (新規)
 - j 多言語情報発信サポート事業 (新規)
- オ 留学生との協働, 留学生への支援, 留学生との交流事業
 - (ア) 留学生スタディ京都ネットワークへの参画
 - (イ) 京都市外国人留学生国民健康保険料補助事業
 - (ウ) 張鳳俊奨学基金奨学金支給事業

- (エ) 留学生のための就職支援事業
- (オ) 留学生受入環境整備事業
(ウェルカムパッケージ, 優待プログラム, 京都市留学生いきいき人材バンク)
- (カ) 外国人歓迎会
- カ 広報・出版事業・広告事業
 - (ア) 広報・出版関係 (年報『Annual Report』等の発行)
 - (イ) 京都市避難所／広域避難場所 Map 等の配布
 - (ウ) 広告関係
- キ 姉妹都市コーナー・展示室の運営
- ク 京都市国際交流会館の運営
 - (ア) 施設管理及び貸出施設の運営
 - (イ) 京都市国際交流会館の前庭の活用
 - (ウ) 団体事務室の入居団体及びレストランとの連携
 - (エ) 京都岡崎魅力づくり推進協議会への参画
 - (オ) 「春! kokoka おもてなし広場」の実施 (日本庭園の無料開放を実施)
- ケ kokoka30周年記念事業 (記念セレモニー, 関連イベント, 10年プランの作成)

(2) 予算

正味財産増減予算書

平成31年4月1日～令和2年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	2,000	2,000	0
特定資産運用益	4,200	4,200	0
事業収益	249,138	249,034	104
受取補助金等	19,300	20,800	△1,500
受取寄附金	3,083	3,083	0
委託料収益	24,592	6,965	17,627
雑収益	202	202	0
経常収益計	302,515	286,284	16,231
(2) 経常費用			
事業費	314,697	296,646	18,051
管理費	8,599	16,107	△7,508
経常費用計	323,296	312,753	10,543
当期経常増減額	△20,781	△26,469	5,688
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
法人税等	80	0	80
当期一般正味財産増減額	△20,861	△26,469	5,608
一般正味財産期首残高	38,165	51,300	△13,135
一般正味財産期末残高	17,304	24,831	△7,527
II. 指定正味財産増減額の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	200,000	200,000	0
指定正味財産金末残高	200,000	200,000	0
III. 正味財産期末残高	217,304	224,831	△7,527

(参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H28 (決算)	H29 (決算)	H30 (決算)	R1 (予算)
正味財産増減計算書	経常収益	284,034	282,065	280,132	302,515
	当期経常増減額	3,790	△8,349	△13,409	△20,781
	当期正味財産増減額	3,790	△8,349	△13,409	△20,861
貸借対照表	総資産	365,823	371,196	364,331	
	総負債	103,384	117,106	123,649	
	正味財産	262,440	254,090	240,681	

(参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H28 (決算)	H29 (決算)	H30 (決算)	R1 (予算)
委託料	京都市国際交流会館の管理運営 (指定管理)	191,986 (※1)	191,986 (※1)	191,986 (※1)	190,736 (※1)
	行政通訳・相談事業	2,470	2,470	2,470	
	平和祈念事業	515	452	786	
	留学生優待プログラム	1,531	1,480	1,480	
	来日直後の留学生を支援する「ウェルカム・パッケージ」	3,200		1,650	
	国際文化市民交流促進サポート事業	300	300	300	
	乳幼児健診等への通訳派遣	1,126	1,078	1,458	
	日本語学習支援事業	200	200	200	
補助金	リユース食器利用促進助成金	124	105	105	2,200 (※2)
	京都市外国人留学生国民健康保険料補助事業	10,964	11,827	12,091	13,000
	ボランティア活動育成事業	190			
	koko 婚	236			
その他	医療通訳派遣事業	4,550	4,539	4,582	4,700

(※1) 利用料金制

(※2) ごみ減量推進課所管助成金の令和元年度予算総額

第3 経営評価結果

1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none">平成 30 年度は、当期経常増減額が 13,409 千円の赤字となっており、平成 29 年度の赤字額（8,349 千円）と比較しても、大きく赤字額が増えている。赤字が続く傾向から黒字に転換できるよう事業の効率化、収益増加に一層の努力を求める。
事業面	<ul style="list-style-type: none">民間企業や国際交流団体と協力しながら進めるコラボ事業の充実に取り組み、国際交流・多文化共生の促進を多面的に行っている点については、大いに評価できる。

2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none">収入が伸び悩む一方、経常費用が高止まりしており、結果的に 2 期連続の当期経常増減額赤字となっている。慢性的な赤字体質に陥っていると考えられ、新規収入源の確保等による収入増や経費節減等に努め、早急に黒字化を図っていく必要がある。
事業面	<ul style="list-style-type: none">事業面では、京都市国際交流会館の来館者数やセミナー・イベントへの参加者数も順調に伸びており、姉妹都市や世界歴史都市連盟の PR 活動も積極的に行っているなど評価できる。今後も引き続き多くの市民や外国人の方々に対して相互交流の機会を提供していくとともに、収益につながる事業という観点での事業展開を図っていく必要がある。